

# Tajima

# F05

## レーザー距離計 タジマF05

品番：LKT-F05

### 取扱説明書



タジマレーザーF05は  
消費生活用製品安全法に基づき、経済産業省への  
届け出を行い、技術適合義務を果たした製品です。

お買い上げいただき、  
ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書を  
必ずお読みください。

本製品の性能をご理解の上で、適切な  
取扱いと保守をしていただくよう  
お願い致します。

お読みになった後、この取扱説明書は  
必ず保管してください。

### 付属品

- ・ 収納ケース
- ・ ネックストラップ
- ・ 単4形アルカリ乾電池2本



レーザー距離計に関する  
お問い合わせは

タジマ相談デスク

## 0120-933297

（受付時間）月曜日～金曜日 9:00～17:30  
（平日12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く）

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3  
ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

## アフターサービスのご提供について【重要】

本機のアフターサービスは、修理は行わず無償または有償での新品交換にて対応させていただきます。

尚、アフターサービスをご希望の際は、ご購入時に販売店で記入された保証書シールのご提示が必要となりますので、本取扱説明書に貼付の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日より2年間となります。

保証期間	保証対象の故障	保証対象外の故障	
		サービス対象	サービス対象外
保証期間内	無償新品交換	有償新品交換	サービスの提供はありません
保証期間外	—	有償新品交換	サービスの提供はありません

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障した場合には、弊社規則に従い、アフターサービスの対象とさせていただきます。

※詳しくはタジマメンテナンスセンターまでお問い合わせください。

2. 故障等でアフターサービスの提供をご希望の場合は、お買上の販売店にお持ちいただくかタジマメンテナンスセンターまでご連絡ください。

3. サービスの依頼品はタジマメンテナンスセンターで故障内容等の評価後、提供されるサービスをお客様にご連絡致します。内容によっては保証期間内外を問わず、サービスを受けられない場合がありますのでご了承ください。

※ 保証期間内、保証対象の故障でも次の場合は有償またはサービス対象外となります。

- 保証書シールのご提示をいただけない場合
- 保証書シールに販売店名・日付の記載がない場合や、ご購入先の訂正印なしに内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造などによる故障または損傷の場合
- ご購入後の輸送、落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、風水害、その他天変地異や公害、煙害、異常電圧などによる故障および損傷
- 故障以外の点検などといったご要望

販売店にて記入される保証書シールに年月日の記載がない場合は、本体記載の製造年月に3ヶ月を加算した月の1日を保証期間開始日とさせていただきます。

この保証は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY IS VALID IN JAPAN）

※ この内容は上記に明示した期間・条件に基づき、アフターサービスのご提供をお約束するものです。

サービス内容など、ご不明な点がございましたらお気軽にタジマメンテナンスセンターまでお問い合わせください。



レーザー距離計の修理に関するお問い合わせは  
タジマメンテナンスセンター

## 0120-470282

フリーFAX.0120-243324

（受付時間）月曜日～金曜日 8:40～18:00  
（祝日・当社指定休日を除く）

54657

WA16103500

## レーザー距離計はこんな時に便利！

オフィスなどの  
改装工事に!!



オフィスや部屋の改装工事など、タジマF05を使えば簡単に、素早く、正確に距離が測定できます。家具や机、間仕切りなどを選んで測定ができ、測定箇所を傷つける心配もありません。

建築現場の  
測定に!!



高い天井までの距離や、今まで2人がかりで測定していた長い距離の測定も、1人で、素早く・安全に行うことができます。見積り出しの時間なども大幅に短縮できます。

## 保証書シール貼付欄

本製品付属の「保証書シール」をはがし、下の欄に貼付してください。

保証書シールにご購入日付、販売店名が記載されていることをご確認ください。

上記の記載がない場合はサービスの対象外となります。

詳しくは1ページの「アフターサービスのご提供について」をご覧ください。

ここに保証書シールを貼付してください

## テクニカルデータ

測距精度 ※1 (測距に適さない環境下) ※2	±2.0mm ※3 ±3.0mm ※3
測距範囲 ※1 (測距に適さない環境下) ※2	0.05m~50m 0.05m~40m
表示単位切替	m ⇔ 10/33m (尺相当換算)
最小表示値	0.001m ⇔ 0.001 10/33m
レーザークラス	クラス2
レーザー波長、出力	635nm、<1mW
レーザースポット径	約6mm/10m 約30mm/50m
自動レーザーオフ	90秒後
自動電源OFF	180秒後
バックライト	○
連続測定	○
計算機能 (+/-)	○
面積測定	○
容積測定	○
ピタゴラス測定	2種類
電池寿命	アルカリ乾電池使用時
	Ni-MH電池使用時
防塵・防水性能	IP40
外形寸法	116×47.3×29.3mm
重量 (アルカリ乾電池含む)	96g
使用温度範囲	0℃~40℃
保管温度範囲	-25℃~70℃

※1~3 ISO 16331-1に基づき、それぞれ以下の条件下で適用されます。

※1 測距に適した環境下：反射率100% (白く塗装された壁)、周囲に強い光がないこと、適温時。

※2 測距に適さない環境下：反射率が低いターゲット、周囲に強い光がある、高温や低温時。

※3 公差は95%の信頼性で0.05m~10mで適用されます。

測距に適した環境下では最大測定公差は10mから30mで0.1mm/m、30m以上で0.15mm/m悪くなる場合があります。測距に適さない環境の場合、最大10~30mで0.15mm/m、30m以上で0.2mm/m悪化することがあります。





■改良のため予告なく仕様・外観を変更する場合があります。



国際標準化機構規格  
ISO 16331-1 適合品

# 本機を正しくお使いいただくために


## 表示の説明

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。
<b>絵表示について</b>	 してはいけないことを示す「禁止」です。  必ず実行していただくことを示す「強制」です。

## レーザー距離計タジマF05のご使用に際して

**使用用途** 本機が使用できる用途は①距離の測定 ②計算機能(面積、体積、ピタゴラスなど)に限定されます。

**使用の制限** 「テクニカルデータ」を参照してください。  
本機は人が通常に活動できる環境での使用に適合しており、過酷な環境や爆発の危険がある環境では使用しないでください。

**レーザークラス** 本機は、可視レーザービームを機器前面から照射します。この距離計は、次の規格に基づく、クラス2レーザーです。  


- ・IEC60825-1:2014「レーザー製品の放射安全性」
- ・JIS C 6802:2014「レーザー製品の安全基準」

 レーザークラス2/II製品:  
レーザービームをのぞき込んだり、他の人に向けたりしないでください。  
通常は、まばたきを含む嫌悪反応により、目が保護されます






**電磁環境適合性 (EMC)** 「電磁適合性」とは、電磁放射や静電気の放電がある環境で、機器が円滑に機能する性能を有し、また、他の機器に電磁干渉を与えないことを意味します。本機は、最も厳しい規格および規制の条件に適合していますが、他の機器に干渉を及ぼす可能性があります。このような場合は、お互いを遠ざけた状態で本機を使用してください。

## 責任の範囲








**管理者の責任** 管理者は、この機器を使用する全ての使用者が、取扱説明書に従って使用されるように徹底してください。また、管理者はこの機器の使用に際しての安全について、説明、研修する責任もあります。

事故防止のため、現地の安全規則を熟知し、機器の安全が損なわれていると判断した場合、すぐにタジマメンテナンスセンターに連絡してください。





# 安全上のご注意

<b>警告</b>	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>必ずこの取扱説明書を読んでからご使用ください。</b></li> <li>■ <b>取扱説明書で禁止されている方法、範囲外で使用しないでください。</b> 製品が正しく理解されずに使用された場合、人的、物的および環境的損害をもたらす場合があります。</li> </ul>
	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>光学器具で直接レーザー光を見ないでください。</b> 望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。</li> <li>■ <b>レーザー光を直接のぞかないでください。</b></li> <li>■ <b>レーザー光路は目の高さを避けてください。</b></li> <li>■ <b>レーザー光路に立ち入らないようにしてください。</b></li> <li>■ <b>レーザー光路に反射物を置かないでください。</b></li> <li>■ <b>レーザー光を他の人に向けしないでください。</b></li> <li>■ <b>幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください。</b> レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。 障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。</li> </ul>
	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>絶対に分解や改造をしないでください。</b> 本機を分解すると故障、感電の原因となります。</li> <li>■ <b>異常を感じたら本機を絶対に使わないでください。</b> すぐに使用を中止して、お求めの販売店、またはタジマメンテナンスセンターに修理を依頼してください。</li> </ul>
	 強制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>安全な測定環境を確認し使用してください。</b></li> <li>■ <b>はしごを使用している場合や、稼働中の機械の近く、保護されていない機械部品、設備の近くなどで測定する場合に、足場上で故意または無責任な行動をとらないでください。</b> 建設現場、工場、道路上では測定スペースを十分に確保し、安全対策を講じた上で使用してください。</li> </ul>
	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>本機および乾電池を家庭ごみと同様の扱いで廃棄しないでください。</b> 本機および使い切った乾電池を廃棄する場合、各自治体の規定に従って適切に廃棄してください。必ず本機を使用する権限のない人の手に渡らないようにしてください。</li> </ul>

## 使用上のご注意

 <b>注意</b>  <b>禁止</b>  <b>強制</b>	 <b>強制</b>	<p>■ <b>本機に不具合がある場合、または落としたり、誤った使用をした場合は、距離が誤測定される可能性があります。</b> 定期的な試験測定を行い、精度を確認してください。特に重要な測定の前夜や測定中には試験測定を行ってください。また本機のレンズは清潔に保ち、本体に大きな機械的損傷がないことを確認してください。</p>
	 <b>強制</b>	<p>■ <b>本機は制御装置ではなく、測定センサーとして使用してください。</b> 本機を距離の測定や、クレーン、建設機械、プラットフォームなどの動いている物体の位置の確定に使用している場合、予測しない事態により、誤測定が起こる場合があります。</p>
	 <b>禁止</b>	<p>■ <b>直射日光下など高温となる場所での使用・保管は行わないでください。</b> ■ <b>結露したまま、本機をお使いにならないでください。</b> 結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してください。その後電源を入れれば正常に作動します。 ■ <b>濡らさないでください。</b> 本機に防水性能はありません。万が一内部に水が入った場合は、お求めの販売店、またはタジマメンテナンスセンターに修理を依頼してください。</p>
	 <b>強制</b>	<p>■ <b>必ず専用の距離計アクセサリを使用してください。</b> タジマ (TJMデザイン) で取り扱う製品以外のアクセサリを使用した場合、本機の性能と安全性を保証できません。 ■ <b>使用しない場合は乾電池を取り出してください。</b> 乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となる場合があります。</p>

## 日本測量器工業会発行「測量機器の安全確保のための表示に関するガイドライン」(第三版)に基づく表示

 <b>警告</b>  <b>強制</b>	 <b>禁止</b>	<p>■ 故意に人体に向けて使用しないでください。レーザー光は人体や目に有害です。万一、レーザー光による障害が疑われるときは、速やかに医師による診断を受けてください。</p>
	 <b>強制</b>	<p>■ 機器を固定した状態で使用してください。やむをえず手で保持して使用する場合は周囲に人がいないことを確認の上使用してください。 ■ レーザー製品は、誤って使われることのないように、子供などの製品知識を持たない者の手に触れることのないように保管してください。 ■ レーザー光が不意に目に入ると、目のまばたきによって不注意を生じ、思わぬ事故を誘発する恐れがあります。レーザー製品は、車を運転する人や歩行者の目の高さを避けて使用してください。 ■ 測定時以外は電源を切ってください。</p>

## お手入れ・保管について

- レンズが汚れた場合は、市販のレンズクリーナーで拭き取ってください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 必ず専用の収納ケースに入れて保管してください。
- 収納ポーチが傷んでいたら、使用しないでください。本体が落下してケガをする恐れがあります。

## メッセージコード

すべてのメッセージコードは①マークと合わせて表示されます。

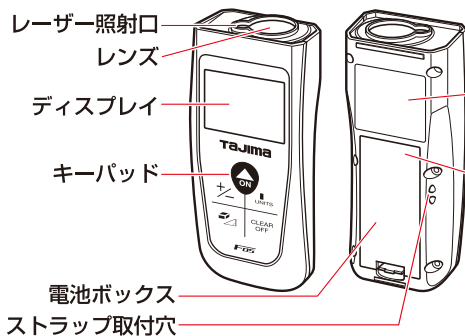
コード	原因	処置
204	計算エラー	はじめから測定をやり直してください
252	温度が高すぎる	距離計の温度を下げてください
253	温度が低すぎる	距離計の温度を上げてください
255	受信シグナルが弱すぎる 測定時間が長すぎる	ターゲットプレート(別売)を使用してください
256	受信シグナルが強すぎる	
257	誤測定 周囲が明るすぎる	
258	測定範囲外	測定可能範囲で測定してください
260	レーザーが遮断されました	測定をやり直してください

☞ 上記以外のメッセージが表示された場合、電源のON/OFFを繰り返し行っていただき、同じメッセージが表示されるかチェックしてください。同じメッセージが表示される場合はタジマメンテナンスセンター(0120-470282)へご連絡ください。

## 免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対しては、当社は一切責任を負いません。
- 本機の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

## 各部の名称



## ラベル表示

本機の背面にあるラベルは安全管理などに必要な内容が記載されています。決してはがさないでください。



## 操作

### 警告

- このアイコンが点滅している時は、レーザー光が照射されています。
- レーザー光を直接のぞかないでください。
  - レーザー光を他の人に向けしないでください。
- レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

### 電源の入れ方



📖 お使いになる前に、電池ボックスに単4形アルカリ乾電池を2本正しく入れてください。

### 電源のON/OFF

#### ON/測定キー



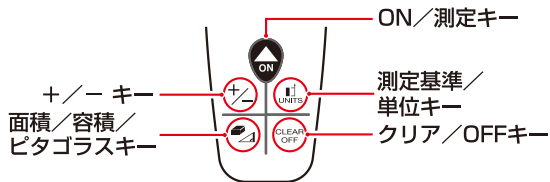
ON：ON/測定キーを押します。同時にレーザー光が照射されます。もう1度ON/測定キーを押すまで、電池残量アイコンが表示されます。

OFF：クリア/OFFキーを長押しします。

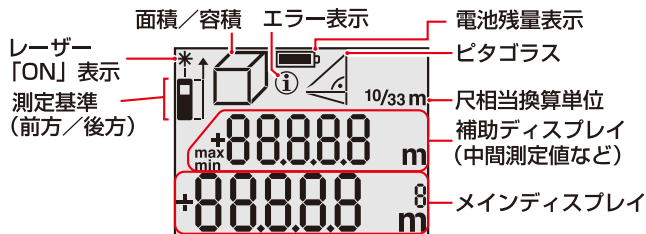
#### クリア/OFFキー

📖 操作しない状態が90秒続くと、レーザー光がオフになります。その時点から更に90秒後には機器の電源が自動的にオフになります。

## キーパッドの名称



## ディスプレイの名称

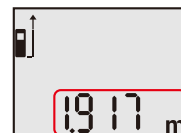


### 距離測定

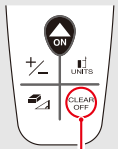
#### ON/測定キー



- ① ON/測定キーを押して、レーザーをオンにします。
- ② レーザー光で距離を測定する対象物を狙って、ON/測定キーをもう一度押します。
- ③ 測定された距離が表示されます。



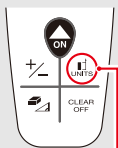
測定した距離  
(電源をONにして最初に測定した場合)



クリア/OFFキー



測定基準/  
単位キー



測定基準/  
単位キー

## クリア (消去)

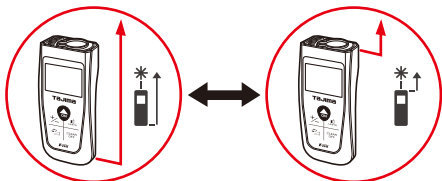
クリア/OFFキーを押して、最後の入力や測定値を消去します。計算機能(面積や容積)を使用している場合は、測定値を1件ずつ、段階的に消去でき、再測定できます。

## 測定基準設定

測定基準は本体後端に設定されています。前端に変更する場合は、測定前に [測定基準/UNITS] キーを押してください。

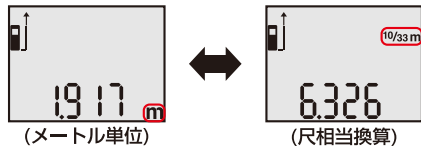
測定後、間違いがないように、前端からの測定値が表示されている間は、測定基準マークが点滅します。

測定を終えると次の測定は、自動的に後端に設定されます。



## 測定単位 (換算値) 変更

測定基準/UNITSキーを長押しすると、表示単位をm (メートル) から10/33m (尺相当換算)に変更することができます。



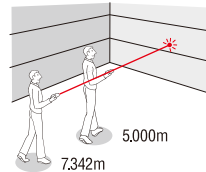
**注意**

10/33m換算表示ができるのは距離測定時のみです。

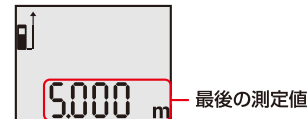
## 機能

### 連続測定

- ON/測定キーを長押しします。連続測定モードに切り替わりリアルタイムの距離を表示します。測定物まで任意の距離に近付いたり、離れる際に使用します。



- ON/測定キーをもう一度押すと、最後の測定値がメインディスプレイに表示されます。



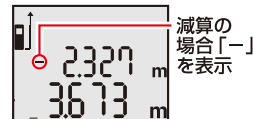
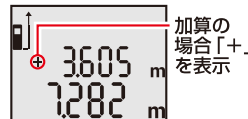
### 加算/減算

- 1つ目の距離を測定します。
  - 加算には [+/-] キーを一度押し、次の距離を測定します。この時、ディスプレイには [+] 表示が点滅します。
  - 減算には [+/-] キーを二度押し、次の距離を測定します。この時、ディスプレイには [-] 表示が点滅します。
- この処理は、必要なだけ何回でも繰り返すことができます。
- 結果はメインディスプレイに表示されます。最後の測定値も表示されます。
- クリア/OFFキーを押して、最後の操作を取り消すことができます。

+/- キー



クリア/OFFキー

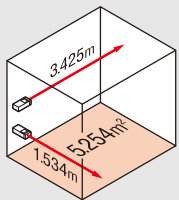




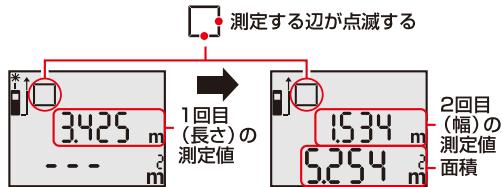
## 面積



面積／容積／  
ピタゴラスキー



- ① 面積／容積キーを1回押します。
- ② 面積アイコンがディスプレイに表示されます。測定する辺が点滅します。
- ③ 「長さ」と「幅」を測定します。
- ④ 結果が、メインディスプレイに表示されます。



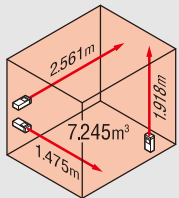
**注意**

面積の測定結果はm<sup>2</sup>(平方メートル)表示のみです。  
10/33m換算値で距離測定してもm<sup>2</sup>で結果表示されます。

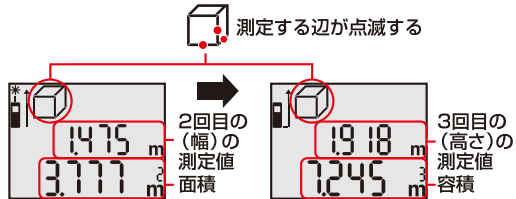
## 容積



面積／容積／  
ピタゴラスキー



- ① 面積／容積キーを2回押します。
- ② 容積アイコンがディスプレイに表示されます。測定する辺が点滅します。
- ③ 「長さ」、「幅」、「高さ」を測定します。  
※「長さ」、「幅」を測定した際に、面積も途中、表示されます。
- ④ 結果が、メインディスプレイに表示されます。



**注意**

体積の測定結果はm<sup>3</sup>(立方メートル)表示のみです。  
10/33m換算値で距離測定してもm<sup>3</sup>で結果表示されます。

## ピタゴラス機能

ピタゴラスの定理を使用して間接的な距離を計算によって算出することができます。

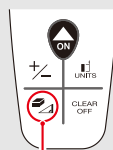


**注意**

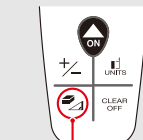
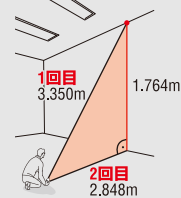
推定距離を算出する機能です。  
実測値とは異なります。

### ピタゴラス1…2点を使った測定

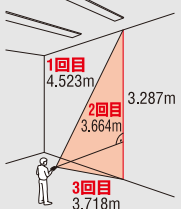
- ① ピタゴラスキーを3回押します。
  - ② のピタゴラスアイコンがディスプレイに表示されます。測定する辺が点滅しますので、順に測定します。
  - ③ 結果がメインディスプレイに表示されます。
- ☞ 2回目の辺の測定は測定物との距離が最短 (= 90°) である必要があります。



面積／容積／  
ピタゴラスキー



面積／容積／  
ピタゴラスキー



### ピタゴラス2…3点を使った測定

- ① ピタゴラスキーを4回押します。
  - ② のピタゴラスアイコンがディスプレイに表示されます。測定する辺が点滅しますので、順に測定します。
- ☞ 2回目の辺の測定は測定物との距離が最短 (= 90°) である必要があります。



ON/測定キー



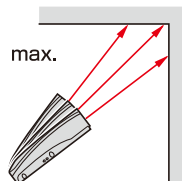
## ピタゴラス測定時のテクニック

各辺の測定時に [ON/測定] キーを長押しすると、対象物までの最長（最短）距離を測定します。

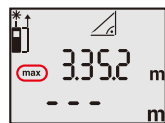
☞測定箇所をなぞるように計測してください。もう一度 [ON/測定] キーを押すと最長（最短）距離を確定します。

例) ピタゴラス1の場合

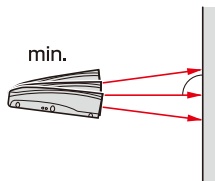
1回目の測定 (max)



最長距離が、maxとして、ディスプレイ上に表示されます。



2回目の測定 (min)

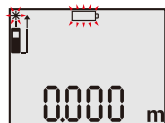


最短距離が、minとして、ディスプレイ上に表示されます。



## 電池残量について

電池残量が少ない場合は電池残量表示アイコンが点滅します。この場合はアルカリ乾電池2本を同時に交換してください。



## こんなときには…

### ■ 測定可能距離が短くなる

周囲に日光などの強い光がある場合や、反射の弱い対象物までの距離を測定する場合は、測定可能距離が短くなる場合があります。

☞この場合は、ターゲットプレート(別売)のご使用をおすすめします。

### ■ 測定対象

できるだけ凹凸のない平らな面を測定対象としてください。

測定面が粗い場合 (例:きめの粗い石膏など)	レーザースポットの中心部分までの距離が表示されます。
測定面に透明度がある場合 (例:ガラス、アクリル板など)	誤測定の原因となりますので測定しないでください。
測定面が濡れている場合や 平滑または光沢がある場合	測定エラーとなる場合があります。 ※エラーについてはメッセージコード項をご覧ください。
測定面に傾きがあったり、測定対象が球体の場合	測定可能です。 但し、レーザースポットを照射するのに十分な表面領域が必要となります。

### ■ 材料を加工する際の寸法確認にご使用される場合

本製品の測定精度は±2mmとなっています。

材料の寸法が短くなってしまいうことを避けたい場合は、測定結果に余分の長さをプラスしてお使いいただくことをお勧めします。

☞個々の製品で機差が異なります。常に長すぎる場合は余分を差し引いてお使いください。